平成２０年度

教科　音　楽　　第１学年	年間指導計画	
＊到達目標 【表現】 (1)　歌詞の内容や曲想を感じ取って，歌唱表現を工夫する (2)　曲種に応じた発声により，言葉の表現に気をつけて歌う (3)　楽器の基礎的な奏法を身に付け，美しい音色を工夫して表現する (4)　声部の役割を感じ取り，全体の響きに気をつけて合唱や合奏をする (5)　短い歌詞に節付けしたり，楽器のための簡単な旋律を作ったりして声や楽器で表現する (6)　音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの動きを感じ取って表現を工夫する (7)　速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫する 【鑑賞】 (1)　声や楽器の音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴く (2)　速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取って聴く (3)　わが国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を感じ取って聴く (4)　音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴く	月	学習内容
	4	オリエンテーション リズムに乗って歌おう 読譜の基礎
	5	弦楽器の響き
	6	曲の雰囲気を感じ取って歌おう アルトリコーダーに親しもう
	7	いろいろな歌唱表現１
	9	いろいろな歌唱表現２
	10	合唱の響き 篠笛に親しもう
	11	アジアの中の日本の響き
＊評価の観点・方法 ①　音楽への関心・意欲・態度…提出物，実技，取り組み内容など総合的にみる ②　音楽的な感受や表現の工夫…実技，提出物，テストの中から感受・工夫に関する内容を抽出 ③　表現の技能…実技，提出物，テストの中から表現の技能に関する内容を抽出 ④　鑑賞の能力…提出物，テストの中から鑑賞の能力に関する内容を抽出	12 1	イメージを膨らませて音楽を聴こう
	2	曲の感じを考えて歌おう 郷土の音楽
	3	いろいろな旋律を作ろう
＊使用教材 教科書（１年），教科書（器楽），ノート，ファイル，アルトリコーダー，篠笛		
＊学習上の注意・助言 ・ 50 分の授業に集中する ・ 実技に地道に取り組む ・ 提出物はきちんと出す		
＊家庭学習の仕方 ・ 日頃から生活の中で音に耳をすませてみよう。 ・ アルトリコーダー，篠笛などは積み重ねが大事。普段から少しずつ練習しておこう。		